

2018年2月15日

就職みらい研究所

株式会社 リクルート キャリア

就職白書2018 – インターンシップ編 –

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林 大三）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：岡崎 仁美）は、企業および学生のインターンシップの実施や参加の状況を明らかにするため、全国の新卒採用を実施している企業と、就職活動を行った2018年卒業予定の大学4年生・大学院2年生を対象に、調査を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

【インターンシップの実施状況】＜企業＞

- 新卒採用を実施している企業のうち、2017年度にインターンシップを実施した（予定含む）企業は68.1%と、2016年度の59.4%より8.7ポイント増加した。また、2018年度に実施予定の企業は73.7%と、2017年度よりも5.6ポイント増加する見通しである。

【2018年卒学生のインターンシップへの参加状況】＜学生＞

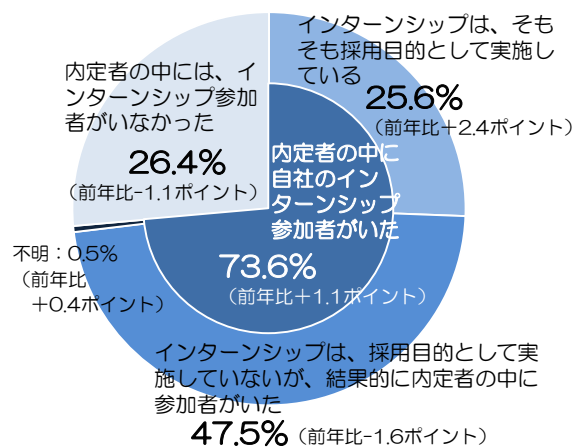
- 2018年卒学生のうち、インターンシップ参加者は55.2%と、2017年卒より11.5ポイント増加した。

【内定者のインターンシップ参加状況、インターンシップ参加企業への入社状況】

- インターンシップ実施企業の2018年卒の内定者の中に、自社のインターンシップ参加者がいたかどうかについて、参加者がいたのは73.6%で、2017年卒よりも1.1ポイント増加した。また、そもそも採用目的として実施しているのは25.6%と、2017年卒よりも2.4ポイント増加した。
- インターンシップ参加学生のうち22.3%がインターンシップ参加企業に入社予定である。参加企業ではないが、同業種の企業に入社予定である学生は29.1%で、合わせて51.4%の学生がインターンシップに参加した業種へ入社予定となった。

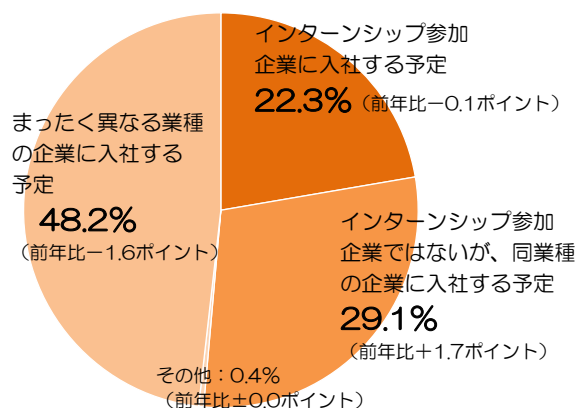
＜企業＞

- 内定者のインターンシップ参加状況
(インターンシップ実施企業/単一回答)



＜学生＞

- インターンシップ参加企業への入社予定状況
(インターンシップ参加者・就職先確定者/単一回答)



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
Mail: kouho@waku-2.com

【目次】

調査概要	2
I. インターンシップの実施状況<企業>	
1) 実施状況	3
2) 実施期間	3
3) 前年度と比較した際の変更および変更予定状況	4
4) 実施目的と成果	5
5) 実施における苦労や懸念点	6
6) 実施対象	6
7) 受け入れ部門/プログラム内容/指導担当者	7
8) 参加者への評価等のフィードバック状況	7
9) インターンシップ選考と採用選考基準の相違/選考方法	8
II. 2018年卒の学生のインターンシップへの参加状況<学生>	
1) 参加状況/参加社数	10
2) 参加期間/プログラム内容	11
3) 参加目的/インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと	12
4) 参加してよかったと思う点/参加しなかった理由	13
5) インターンシップでの報酬等の支給状況	14
6) インターンシップ参加企業へのプレエントリー状況	15
III. 内定者のインターンシップ参加状況<企業・学生>	
1) 内定者のインターンシップ参加状況、インターンシップと採用の連動	16
2) インターンシップ参加企業への入社予定状況、インターンシップと採用選考の関係	17
参考. インターンシップの参加期間による特徴<学生>	
1) 参加期間毎に見るインターンシップ参加時期/参加目的(大学生)	18
2) 参加期間毎に見るインターンシップ内容/参加してよかったと思う点(大学生)	19

【調査概要】

今回調査：就職白書2018

【企業調査】

2018年卒(大学生・大学院生)の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握する
 調査方法：郵送調査
 調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,319社
 調査期間：2017年12月18日～2018年1月22日
 回収社数：1,192社(回収率27.6%)

【学生調査】

2018年卒(大学生・大学院生)の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握する
 調査方法：インターネット調査
 ー調査協力：株式会社クロス・マーケティング
 調査対象：クロス・マーケティング社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女を対象
 調査期間：2017年12月15日～2018年1月15日
 集計対象：1,825人

前回調査：就職白書2017

【企業調査】

2017年卒(大学生・大学院生)の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握する
 調査方法：郵送調査
 調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,501社
 調査期間：2016年12月18日～2017年1月25日
 回収社数：1,229社(回収率27.3%)

【学生調査】

2017年卒(大学生・大学院生)の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握する
 調査方法：インターネット調査
 ー調査協力：株式会社インテージ
 調査対象：インテージ社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女を対象
 調査期間：2016年12月26日～2017年1月17日
 集計対象：2,295人

《集計方法について》

■学生調査

大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体の構成比が実際の母集団に近づくよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。大学生と大学院生を合わせた学生全体については、大学生と大学院生の構成比に関して、同様のウェイトバック集計を行ったため、大学生と大学院生の合計値が、学生全体の値と一致しない。

《調査結果を見る際の注意点》

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。
- 図表の一部で、今回調査と前回調査のポイント差をカッコ内に記載した。
例：14.2%(-6.7)の場合、前回調査より6.7ポイント減少

《地域区分の内訳》

関東＝茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 中部＝新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
 近畿＝三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 その他地域・計＝「関東」「中部」「近畿」以外

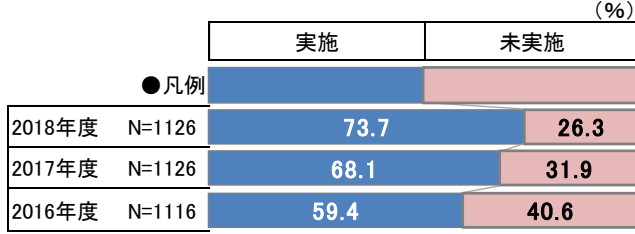
《その他》

- 年度は、4月から翌年3月までとしている。

1) 実施状況

新卒採用を実施している企業のうち、2017年度にインターンシップを実施した（予定含む）企業は68.1%と、2016年度の59.4%より8.7ポイント増加した。また、2018年度に実施予定の企業は73.7%と、2017年度よりも5.6ポイント高い。

■ インターンシップの実施（予定）状況（全体／単一回答）



□ 従業員規模および業種、地域別インターンシップの実施（予定）状況

		2016年度		2017年度		2018年度	
		N	実施率	N	実施率	N	実施率
全体		1116	59.4	1126	68.1	1126	73.7
従業員規模	300人未満	307	41.0	311	47.9	316	57.0
	300～999人	409	56.7	412	68.7	409	73.3
	1000～4999人	305	73.8	307	80.5	307	85.0
	5000人以上	95	84.2	96	91.7	94	94.7
業種	建設業	97	63.9	98	74.5	100	82.0
	製造業	350	57.4	349	68.2	351	74.6
	流通業	233	60.1	236	69.5	236	74.6
	金融業	131	66.4	131	71.0	129	73.6
	サービス・情報業	304	56.9	311	63.7	309	69.3
地域	関東	492	59.3	501	66.3	501	70.7
	中部	203	63.1	205	75.6	202	79.7
	近畿	164	57.3	166	69.9	167	75.4
	その他地域・計	257	58.0	254	64.6	256	73.8

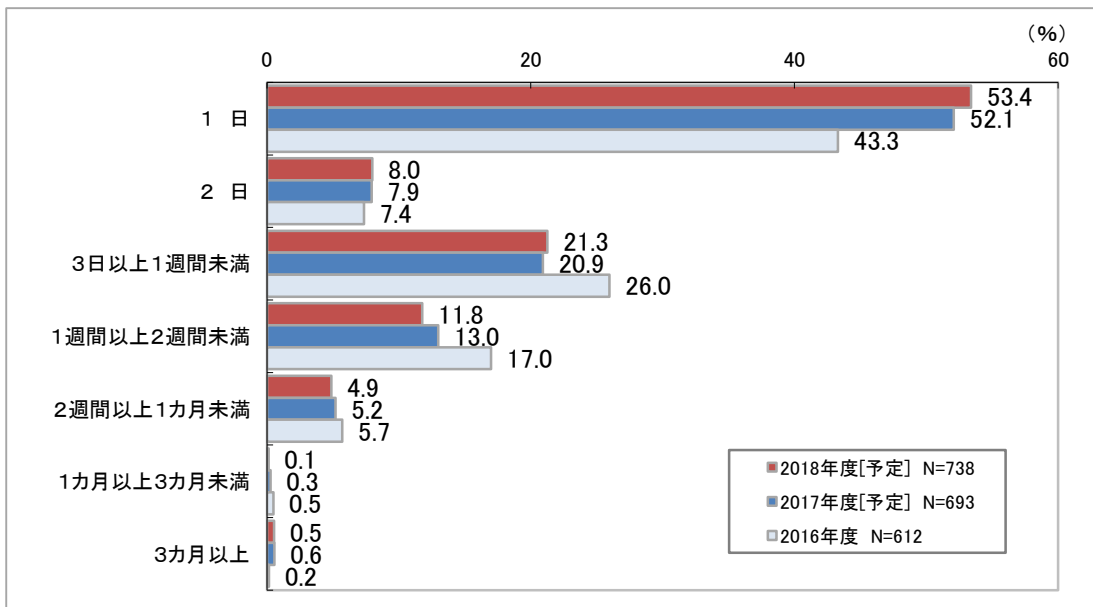
※今回調査の、2016年度実績、2017年度実績および予定、2018年度予定に関する回答結果を集計
 ※2017年度および2018年度は、調査時点以降の予定を含めた回答

2) 実施期間

【2016～2018年度いずれかの年度で実施/実施予定】

2016～2018年度いずれかで、インターンシップを実施もしくは実施予定の企業に、実施期間（主なもの）を尋ねたところ、いずれの年度においても「1日」が最も高く、2017年度（予定含む）、2018年度（予定）では半数を超えている。

■ インターンシップの実施期間（各年度のインターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 各年度単一回答）



※データは無回答サンプルを除いて集計
 ※従業員規模、業種、地域の不明・無回答企業があるため、規模別、業種別、地域別の計と全体は一致しない

3) 前年度と比較した際の変更および変更予定状況 【2016~2018年度いずれかの年度で実施/実施予定】

2016~2018年度にインターンシップを実施または実施予定の企業において、前年度と比べた変更状況について見る。まず、2017年度は、2016年度に続きすべての項目で「同じ」が高く、特に「対象者」「時期」はともに7割以上が「同じ」と回答している。次に2018年度について見ると、「受け入れ人数」は39.7%、「回数」は36.2%が「増やす予定」と回答、「時期」は24.2%が「変更する予定」と回答している。

■2017年度と前年(2016年)度を比べた変更状況、および、2018年度と前年(2017年)度を比べた変更予定状況
(インターンシップ実施企業[実施予定含む]／それぞれ単一回答)

※「参考)2016年度」は前回調査における、2015年度との比較を掲載。

【受け入れ人数】(増やした/増やす予定)

		(%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
2018年度	N=763	39.7	57.9	2.4
2017年度	N=633	46.4	49.4	4.1
参考)2016年度	N=581	45.4	50.6	4.0

【対象者】(広げた/広げる予定)

		(%)		
		広げた	同じ	絞った
●凡例				
2018年度	N=763	19.4	79.0	1.6
2017年度	N=633	22.6	75.8	1.6
参考)2016年度	N=579	20.9	76.0	3.1

【期間】(増やした/増やす予定)

		(%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
2018年度	N=760	22.4	74.5	3.2
2017年度	N=631	25.0	67.8	7.1
参考)2016年度	N=579	19.7	73.9	6.4

【回数】(増やした/増やす予定)

		(%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
2018年度	N=759	36.2	60.7	3.0
2017年度	N=631	47.5	48.5	4.0
参考)2016年度	N=581	38.9	57.0	4.1

【内容】(変更した/変更する予定)

		(%)	
		変更した	同じ
●凡例			
2018年度	N=752	37.0	63.0
2017年度	N=631	44.7	55.3
参考)2016年度	N=580	39.1	60.9

【時期】(変更した/変更する予定)

		(%)	
		変更した	同じ
●凡例			
2018年度	N=753	24.2	75.8
2017年度	N=632	29.6	70.4
参考)2016年度	N=581	25.3	74.7

※データは無回答サンプルを除いて集計

4) 実施目的と成果

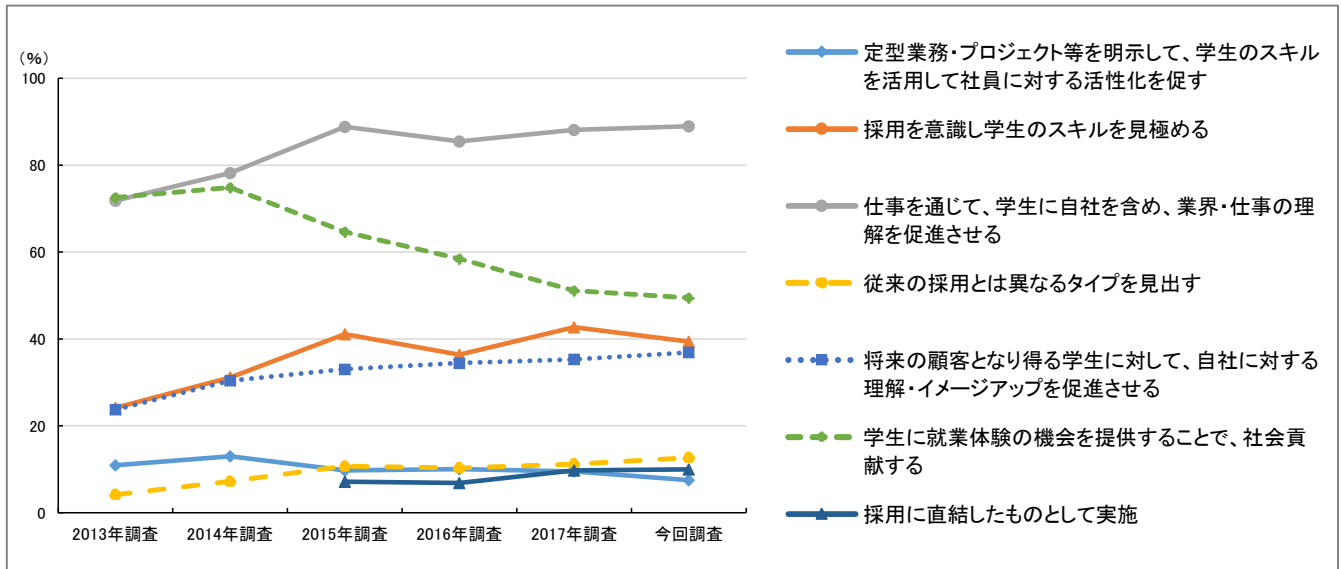
【当該年度のいずれかの年度で実施】

2016年度～2018年度のいずれかにインターンシップを実施（予定も含む）した企業に、実施目的を尋ねると、「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」（89.0%）が最も高く、次いで「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」（49.5%）であった。

目的に対する成果を見ると、「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」（83.4%）が最も高く、次いで「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」（42.2%）で、目的と同順であった。

実施目的について2013年調査より経年で見ると、「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」が「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」と2014年調査で逆転し、その割合は年々減少している。

■ インターンシップの実施目的（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）



*「その他」「特に目的を設定していない」は、グラフでは割愛。下記の表組を参照。

□ インターンシップの実施目的（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

		定型業務・プロジェクト等を明示して、学生のスキルを活用して社員に対する活性化を促す	採用を意識し学生のスキルを見極める	仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる	従来の採用とは異なるタイプを見出す	将来の顧客となり得る学生に対して、自社に対する理解・イメージアップを促進させる	学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する	採用に直結したものとして実施	その他	特に目的を設定していない
N										
今回調査	843	7.5	39.4	89.0	12.7	36.9	49.5	10.0	3.2	0.7
2017年調査	759	9.5	42.7	88.1	11.2	35.3	51.1	9.7	2.6	0.3
2016年調査	717	10.0	36.4	85.5	10.3	34.4	58.4	6.8	3.5	0.7
2015年調査	645	9.8	41.1	88.8	10.7	33.0	64.7	7.1	2.8	0.3
2014年調査	569	13.0	31.1	78.2	7.2	30.4	74.9	3.9	1.1	
2013年調査	430	10.9	24.2	71.9	4.2	23.7	72.6	5.3		

*「特に目的を設定していない」は、2014年調査より追加。

*「採用に直結したものとして実施」は、2015年調査より追加。

■ インターンシップの実施目的に対する成果（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

		定型業務・プロジェクト等を明示して、学生のスキルを活用して社員に対する活性化を促す	採用を意識し学生のスキルを見極める	仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる	従来の採用とは異なるタイプを見出す	将来の顧客となり得る学生に対して、自社に対する理解・イメージアップを促進させる	学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する	採用に直結したものとして実施	その他
N									
今回調査	721	6.5	29.1	83.4	6.8	30.0	42.2	6.4	2.8
2017年調査	652	7.1	31.7	81.0	6.0	27.6	42.9	7.1	2.6
2016年調査	622	8.7	29.3	81.5	7.1	28.6	51.0	4.5	3.2
2015年調査	552	8.3	30.1	84.8	6.2	27.4	60.0	3.4	2.5
2014年調査	522	11.1	24.3	74.5	5.2	25.3	69.7		3.4

*【目的に対する成果】は、2014年調査より実施。

*「採用に直結したものとして実施」は、2015年調査より追加。

※データは無回答サンプルを除いて集計

5) 実施における苦労や懸念点

【当該年度実施】

2017年度にインターンシップを実施（予定も含む）した企業にその苦労や懸念点を尋ねると、「プログラムの企画・設計」（82.7%）、「社内協力者の巻き込み」（73.5%）、「参加者の募集・選考」（56.9%）の順に高かった。さらに、最も苦労・懸念した点を尋ねると、「プログラムの企画・設計」（35.9%）、「社内協力者の巻き込み」（25.3%）の順に高かった。

■インターンシップを実施する際の苦労や懸念点（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

(%)

	N	プログラムの企画・設計	社内協力者の巻き込み	参加者の募集・選考	プログラムの実施	プログラム終了後のフォロー	運営上の事前手配	事務手続き	その他	特になし
2017年度	844	82.7	73.5	56.9	44.2	43.7	37.1	17.5	0.9	2.0
2016年度	763	80.5	73.7	47.6	40.2	36.7	38.4	17.6	0.7	4.1
2015年度	722	78.5	74.5	44.6	45.4	32.1	38.4	23.3	0.8	3.7

■インターンシップを実施する際の最も苦労・懸念した点（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 単一回答）

(%)

	N	プログラムの企画・設計	社内協力者の巻き込み	参加者の募集・選考	プログラム終了後のフォロー	プログラムの実施	運営上の事前手配	事務手続き	その他
2017年度	771	35.9	25.3	17.6	10.9	5.4	2.3	1.4	1.0
2016年度	688	37.4	29.8	15.8	7.7	3.9	2.8	1.9	0.7
2015年度	642	32.9	38.0	11.1	6.5	6.1	3.1	1.6	0.8

6) 実施対象

【当該年度実施】

2017年度のインターンシップ実施対象は、前年度と同様に「大学3年生」が95.6%と突出して高く、次いで「大学院1年生」の54.6%であった。

■インターンシップの実施対象（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

(%)

	N	大学1年生	大学2年生	大学3年生	大学4年生	大学院1年生	大学院2年生以上	日本の大学(院)在学中の外国人留学生	海外の大学(院)在学中の外国人学生	海外の大学(院)在学中の日本人留学生	既卒者
2017年度	749	29.8	36.2	95.6	30.7	54.6	24.7	23.2	9.9	10.8	7.9
2016年度	696	29.6	36.6	94.0	31.9	52.0	24.9	24.6	11.5	11.8	7.0
2015年度	659	26.7	32.3	92.3	29.9	49.8	23.1	23.8	11.1	11.7	6.8

※データは無回答サンプルを除いて集計

7) 受け入れ部門／プログラム内容／指導担当者

【当該年度実施】

2017年度にインターンシップを実施した（予定含む）企業に、インターンシップの受け入れ部門を尋ねると、「人事部門」（62.5%）が最も高く、次いで「営業・販売部門」（29.7%）、「技術・設計部門」（26.9%）の順であった。インターンシップのプログラム内容について見ると、「通常業務でなく別の課題やプロジェクト」（54.5%）が最も高く、次いで「職場や工場の見学」（47.5%）、「社員に同席あるいは同行」（30.5%）の順であった。インターンシップ受け入れ学生を直接指導する担当者を見ると、「一般社員クラス」（74.5%）が最も高く、次いで「係長・主任・リーダークラス」（63.2%）、「課長・課長と同等クラス」（45.3%）の順であった。

■ インターンシップ受け入れ部門（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答）

（%）

	N	人事部門	人事部門以外のスタッフ系部門	技術・設計部門	営業・販売部門	製造部門	研究・開発部門	その他
2017年度	747	62.5	9.0	26.9	29.7	11.1	15.9	7.1
2016年度	693	58.6	9.2	27.7	27.0	13.0	16.7	8.5
2015年度	658	56.1	9.7	27.7	25.7	16.0	17.9	7.1

■ インターンシッププログラム内容（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答）

（%）

	N	社員に同席あるいは同行	社員の基幹的な業務の一部	社員の補助的な業務の一部	通常業務でなく別の課題やプロジェクト	職場や工場の見学	アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部	会社・仕事・業界に関する説明のみ	その他
2017年度	752	30.5	24.5	27.5	54.5	47.5	6.5	20.3	4.9
2016年度	695	32.7	17.7	32.1	51.7	48.3	5.9	20.1	4.2
2015年度	661	33.4	21.6	35.2	53.1	43.1	9.1		3.3

*「会社・仕事・業界に関する説明のみ」は、2016年度より追加。

■ インターンシップ受け入れ学生を直接指導する担当者（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答）

（%）

	N	一般社員クラス	係長・主任・リーダークラス	課長・課長と同等クラス	部長・部長と同等クラス	役員・役員と同等クラス以上	その他
2017年度	752	74.5	63.2	45.3	18.0	3.9	1.1
2016年度	694	75.6	62.5	42.4	18.6	5.9	0.9
2015年度	661	71.6	62.9	45.7	16.2	2.7	1.4

8) 参加者への評価等のフィードバック状況

【当該年度実施】

2017年度のインターンシップ参加者に対しての、評価等のフィードバック状況は、「学生にのみ直接している」（41.4%）が最も高く、前年度の37.9%より3.5ポイント増加した。

■ インターンシップ参加者への評価等のフィードバック状況（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／単一回答）

（%）

	学生にのみ直接している	学生にはしていないが大学へしている	学生および大学の両方へしている	特にしていない
●凡例				
2017年度 N=741	41.4	10.3	17.4	30.9
2016年度 N=684	37.9	15.5	17.5	29.1
2015年度 N=655	33.4	16.6	23.1	26.9

（%）

	全体	従業員規模				業種				
		300人未満	300～4999人	1000～4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業
N	741	144	274	236	87	71	229	159	90	191
学生にのみ直接している	41.4	28.5	39.4	47.5	52.9	33.8	41.0	47.8	33.3	42.9
学生にはしていないが大学へしている	10.3	20.1	9.5	7.6	3.4	16.9	10.5	5.7	15.6	8.9
学生および大学の両方へしている	17.4	20.1	18.2	15.3	16.1	28.2	16.6	18.9	10.0	16.8
特にしていない	30.9	31.3	32.8	29.7	27.6	21.1	31.9	27.7	41.1	31.4

※データは無回答サンプルを除いて集計

9) インターンシップ選考と採用選考基準の相違／選考方法

【当該年度実施】

2017年度のインターンシップ参加者の選定基準と採用選考基準との相違を見ると、「全く同じ」であるのは32.7%で、「多少異なる」33.0%と「全く異なる」34.3%を合わせると、67.3%が異なっていると回答している。また、選考基準が異なっている場合、どちらが厳しいかを聞いたところ、「採用の方が厳しい」が71.9%で、「どちらかというと採用の方が厳しい」の19.0%を合わせると90.8%であり、ほとんどが採用選考の基準の方が厳しいと回答している。

■ インターンシップ参加者の選定基準と採用選考基準との相違（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／単一回答）

		（%）			
●凡例		全く同じ	多少異なる	全く異なる	異なる・計
2017年度	N=682	32.7	33.0	34.3	67.3
2016年度	N=620	29.2	35.6	35.2	70.8
2015年度	N=600	27.5	39.2	33.3	72.5

		（%）									
N	全体	従業員規模				業種					
		300人未満	300～999人	1000～4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業	
682		132	253	217	80	60	213	144	87	178	
	全く同じ	32.7	34.8	35.2	30.9	26.3	36.7	24.4	45.8	28.7	32.6
	多少異なる	33.0	18.9	30.8	39.6	45.0	30.0	44.1	25.0	32.2	27.5
	全く異なる	34.3	46.2	34.0	29.5	28.8	33.3	31.5	29.2	39.1	39.9

■ インターンシップ参加者の選定基準と採用選考基準との比較（選考基準が異なる企業／単一回答）

		（%）					
●凡例		インターンシップの方が厳しい	どちらかという とインターン シップの方が 厳しい	ほぼ同じ基準	どちらかという と採用の方が 厳しい	採用の方が 厳しい	採用の方が 厳しい・ 計
2017年度	N=448	2.0	2.5	4.7	19.0	71.9	90.8
2016年度	N=432	1.4	0.5	4.9	19.7	73.6	93.3
2015年度	N=422	1.2	5.2	22.3		71.3	93.6

		（%）									
N	全体	従業員規模				業種					
		300人未満	300～999人	1000～4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業	
448		85	160	146	57	38	154	77	62	117	
	インターンシップの方が 厳しい	2.0	—	3.8	2.1	—	3.2	2.6	3.2	—	
	どちらかという とインターン シップの方が 厳しい	2.5	—	3.1	2.7	3.5	2.6	3.2	—	3.2	
	ほぼ同じ基準	4.7	2.4	3.1	3.4	15.8	2.6	6.5	6.5	—	
	どちらかという と採用の方 が厳しい	19.0	14.1	16.3	23.3	22.8	15.8	25.3	16.9	24.2	
	採用の方が 厳しい	71.9	83.5	73.8	68.5	57.9	78.9	61.7	74.0	69.4	

※データは無回答サンプルを除いて集計
 ※サンプル数が50未満の数値は、参考値としてご参照ください。

9) インターンシップ選考と採用選考基準の相違／選考方法

【当該年度実施】

2017年度のインターンシップ参加者の選考方法は、「書類」が39.9%で最も高く、次いで「先着順や抽選」が35.8%、「選考はしていない」が32.2%となっている。

従業員規模別に見ると、規模が小さくなるにつれて、「選考はしていない」が高くなり、300人未満企業では44.5%となっている。5000人以上企業では、「書類」と「先着順や抽選」がともに42.5%で最も高く、次いで「面接」が40.2%であった。

■インターンシップ参加者の選考方法(インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答)

(%)

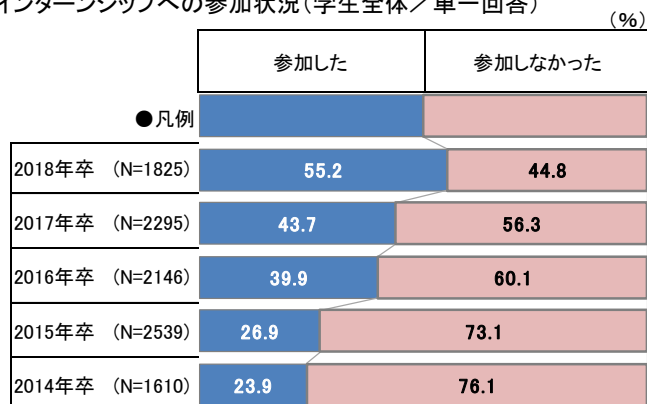
	N	書類	適性試験	筆記試験	面接	先着順や 抽選	選考はして いない	その他
2017年度	742	39.9	10.2	3.5	16.8	35.8	32.2	6.7
300人未満	146	29.5	5.5	2.7	10.3	25.3	44.5	7.5
300～999人	274	39.4	6.9	3.6	12.8	38.7	33.6	6.6
1000～4999人	235	46.0	13.6	3.0	17.0	36.6	28.1	5.5
5000人以上	87	42.5	19.5	5.7	40.2	42.5	18.4	9.2
2016年度	687	41.8	7.1	2.3	16.4	28.8	35.2	5.8
300人未満	109	32.1	8.3	2.8	18.3	23.9	49.5	4.6
300～999人	253	43.9	3.6	2.0	11.9	27.3	38.3	4.3
1000～4999人	232	43.5	7.8	3.0	16.8	31.0	30.2	6.0
5000人以上	93	43.0	14.0	1.1	25.8	33.3	22.6	10.8
2015年度	652	45.7	7.5	3.8	17.3	25.8	35.6	5.2
300人未満	104	26.0	5.8	2.9	13.5	22.1	51.9	4.8
300～999人	241	44.0	5.8	4.6	14.9	24.5	41.1	4.6
1000～4999人	236	52.1	6.8	3.0	15.7	27.1	29.2	4.7
5000人以上	71	59.2	18.3	5.6	36.6	31.0	14.1	9.9

※データは無回答サンプルを除いて集計

1) 参加状況/参加社数

2018年卒学生のうち、インターンシップ参加者は55.2%と、2017年卒よりも11.5ポイント増加した。大学院生の参加率は68.7%で、大学生は53.5%であった。いずれも同様の調査を開始した2012年卒以降で最も高かった。インターンシップの平均参加社数は3.30社で年々増加している。また2社以上のインターンシップに参加した学生は、2017年卒の62.4%より4.1ポイント増加し、66.5%となっている。

■インターンシップへの参加状況(学生全体/単一回答)



■学校種および文理、地域別のインターンシップへの参加状況

	2015年卒		2016年卒		2017年卒		2018年卒		
	N	参加率	N	参加率	N	参加率	N	参加率	
大学生	全体	2185	27.0	1822	39.4	2002	42.9	1592	53.5
	文系	1458	28.9	1216	40.5	1350	41.7	1063	53.8
	理系	727	23.2	606	37.0	652	45.3	529	52.8
	関東	986	29.6	817	42.8	882	45.7	704	55.1
	中部	284	25.2	252	36.7	265	42.1	229	48.6
	近畿	448	26.2	358	36.6	412	40.6	355	53.1
	その他地域・計	466	23.2	394	36.4	443	39.9	304	53.7
大学院生	全体	354	26.0	324	44.1	293	50.2	233	68.7
	文系	56	25.0	48	25.0	46	26.1	31	58.1
	理系	298	26.2	276	47.5	247	54.7	202	70.3
	関東	156	30.8	124	42.7	108	45.4	85	65.9
	中部	44	11.4	59	45.8	46	60.9	28	64.3
	近畿	78	29.5	59	50.8	62	56.5	49	79.6
	その他地域・計	76	21.1	82	40.2	77	45.5	71	66.2

■インターンシップの参加社数の内訳(インターンシップ参加者/単一回答)

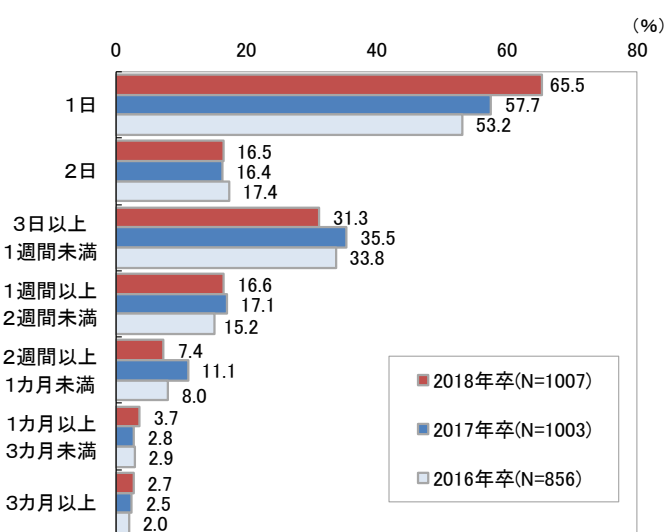
	N	参加社数							平均社数
		1社	2社	3社	4社	5社	6社以上		
全体	2018年卒	1007	33.5	21.6	18.2	6.5	9.3	10.9	3.30社
	2017年卒	1003	37.6	24.7	15.5	4.4	7.5	10.3	3.07社
	2016年卒	856	48.9	24.8	10.8	3.4	6.2	5.8	2.32社
関東	2018年卒	444	26.8	22.5	19.6	6.7	10.9	13.5	3.63社
	2017年卒	453	34.0	24.3	16.2	4.9	8.5	12.1	3.26社
	2016年卒	405	42.6	25.8	13.1	4.1	7.3	7.2	2.60社
中部	2018年卒	129	36.7	26.4	18.6	4.9	5.1	8.2	2.80社
	2017年卒	138	47.3	25.4	10.1	1.6	6.5	9.1	2.57社
	2016年卒	117	62.3	20.7	7.7	2.2	6.7	0.4	1.79社
近畿	2018年卒	226	37.2	18.9	13.9	8.4	9.0	12.5	3.35社
	2017年卒	201	33.6	21.4	20.3	4.2	10.3	10.1	3.36社
	2016年卒	160	50.0	20.1	12.2	4.4	6.6	6.8	2.42社
地域・その他	2018年卒	208	41.8	19.8	19.6	4.8	8.6	5.4	2.85社
	2017年卒	210	42.7	28.0	13.0	5.4	3.4	7.5	2.72社
	2016年卒	175	53.7	29.8	6.4	1.9	3.0	5.2	1.95社

※サンプル数が50未満の数値は、参考値としてご参照ください。

2) 参加期間／プログラム内容

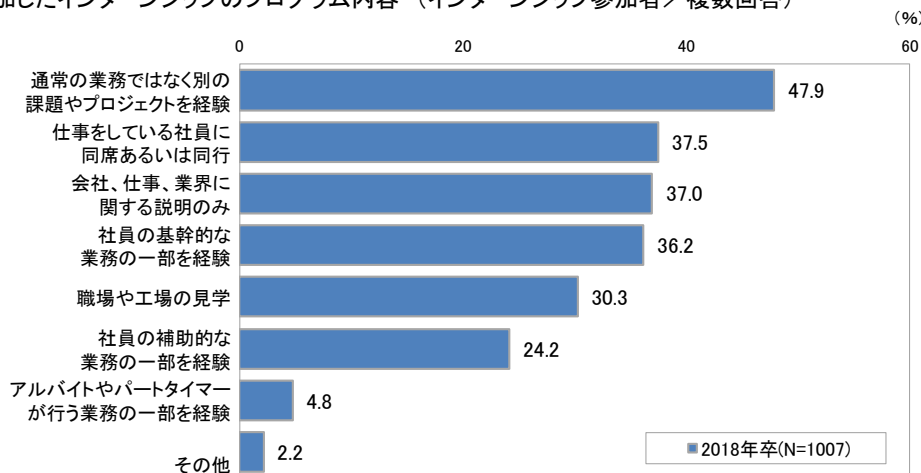
インターンシップ参加期間は、「1日」(65.5%)が最も高く、2017年卒より7.8ポイント増加した。
 参加したインターンシップのプログラム内容を見ると、「通常の業務ではなく、別の課題やプロジェクトを経験」(47.9%)が最も高く、次いで「仕事をしている社員に同席あるいは同行」(37.5%)であった。

■インターンシップの参加期間 (インターンシップ参加者／複数回答)



	N	参加期間 (%)							
		1日	2日	3日以上 1週間 未満	1週間 以上 2週間 未満	2週間 以上 1 か月未 満	1か月 以上 3 か月未 満	3か月 以上	
全体	2018年卒	1007	65.5	16.5	31.3	16.6	7.4	3.7	2.7
	2017年卒	1003	57.7	16.4	35.5	17.1	11.1	2.8	2.5
	2016年卒	856	53.2	17.4	33.8	15.2	8.0	2.9	2.0
関東	2018年卒	444	67.6	16.3	33.9	14.4	5.6	3.7	3.3
	2017年卒	453	58.7	17.1	35.5	16.5	13.5	3.5	3.4
	2016年卒	405	60.3	17.0	34.9	15.0	8.5	3.1	1.6
中部	2018年卒	129	60.5	18.7	28.2	18.1	7.1	6.3	4.5
	2017年卒	138	55.1	15.1	34.0	17.1	11.5	1.9	0.6
	2016年卒	117	41.9	16.2	31.3	16.6	8.9	0.6	3.8
近畿	2018年卒	226	67.9	17.8	28.0	20.6	7.1	3.4	1.6
	2017年卒	201	64.6	14.7	31.5	21.3	7.9	2.5	2.4
	2016年卒	160	52.8	23.3	33.8	13.6	9.8	3.8	0.5
地域・計	2018年卒	208	61.3	14.1	31.2	16.0	11.8	2.2	1.4
	2017年卒	210	50.4	17.5	40.1	14.1	8.5	2.1	2.0
	2016年卒	175	44.5	13.7	33.0	16.0	4.7	3.2	3.0

■参加したインターンシップのプログラム内容 (インターンシップ参加者／複数回答)

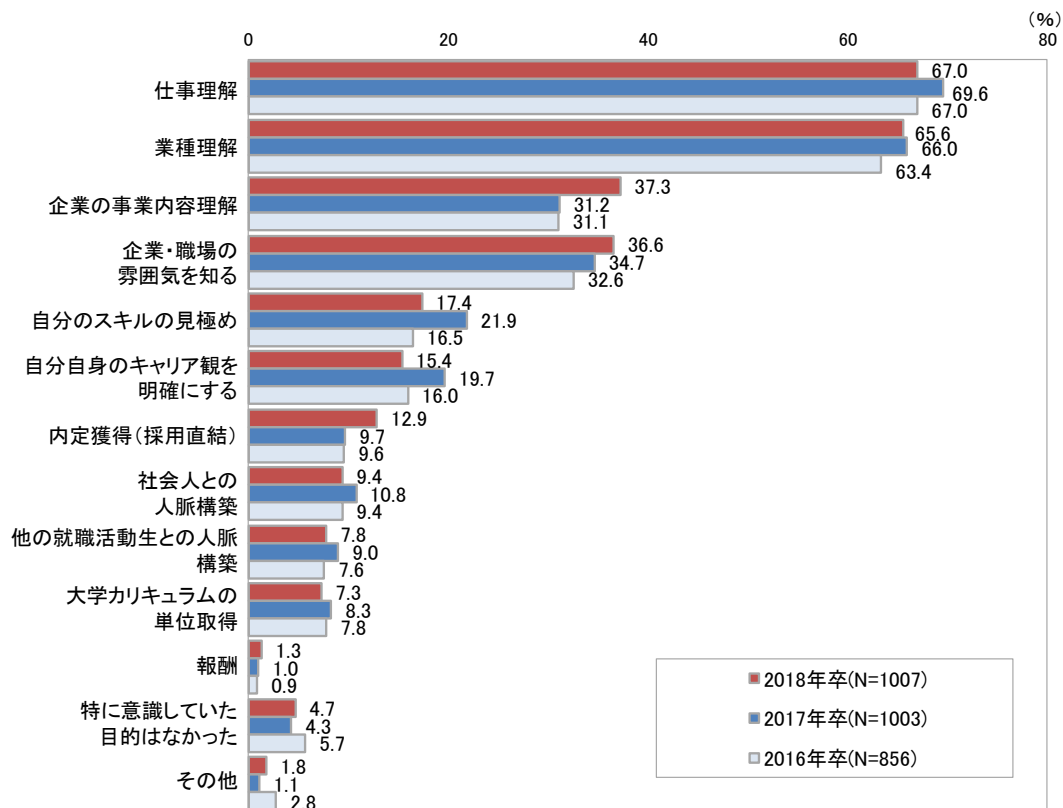


	N	プログラム内容 (%)								
		通常の業務ではなく、別の課題やプロジェクトを経験	仕事をしている社員に同席あるいは同行	会社、仕事、業界に関する説明のみ	社員の基幹的な業務の一部を経験	職場や工場の見学	社員の補助的な業務の一部を経験	アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部を経験	その他	
全体	2018年卒	1007	47.9	37.5	37.0	36.2	30.3	24.2	4.8	2.2
	2017年卒	1003	47.2	41.3	34.9	34.0	34.9	26.0	4.9	1.5
関東	2018年卒	444	49.7	37.4	39.1	33.3	29.3	23.3	6.2	2.2
	2017年卒	453	49.2	35.2	33.4	32.0	31.4	24.1	5.7	1.1
中部	2018年卒	129	44.2	46.3	36.4	34.8	35.1	27.0	4.5	2.8
	2017年卒	138	43.1	50.7	36.1	40.0	43.6	30.4	2.2	2.4
近畿	2018年卒	226	50.2	29.6	34.4	38.0	29.6	23.9	5.1	1.8
	2017年卒	201	50.0	37.3	38.0	29.7	31.6	22.7	3.1	1.9
地域・計	2018年卒	208	44.0	40.7	35.5	41.1	30.1	24.5	1.5	2.3
	2017年卒	210	42.9	52.3	34.3	38.4	39.8	30.3	6.7	1.6

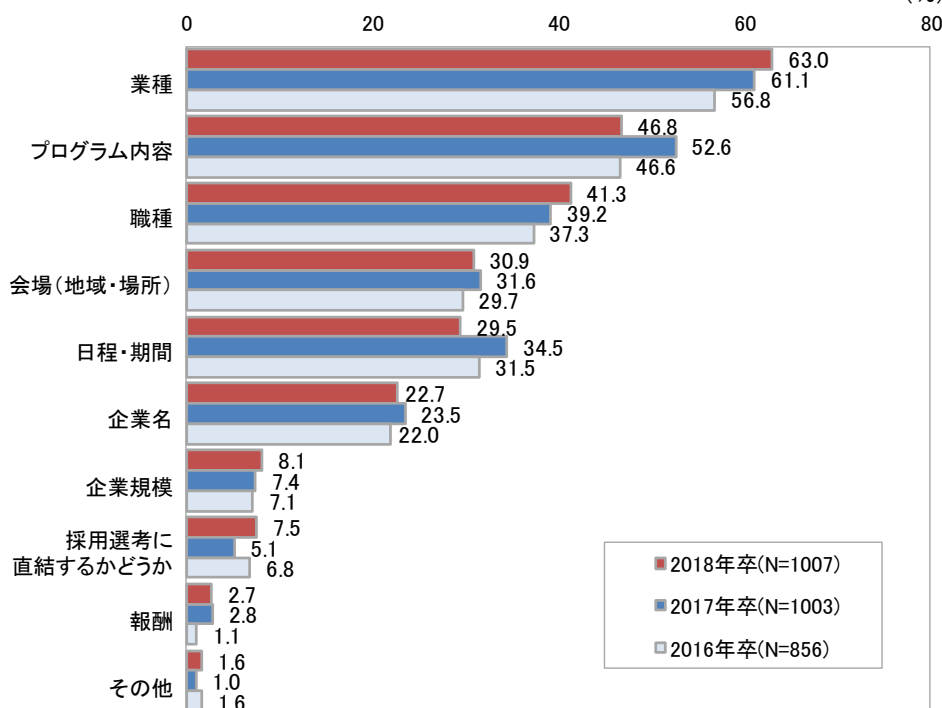
3) 参加目的/インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと

インターンシップの参加目的を見ると、「仕事理解」(67.0%)、「業種理解」(65.6%)、「企業の事業内容理解」(37.3%)の順で高かった。インターンシップを選ぶ際に重視した項目を見ると、「業種」(63.0%)、「プログラム内容」(46.8%)、「職種」(41.3%)の順であった。

■インターンシップの参加目的 (インターンシップ参加者/複数回答)



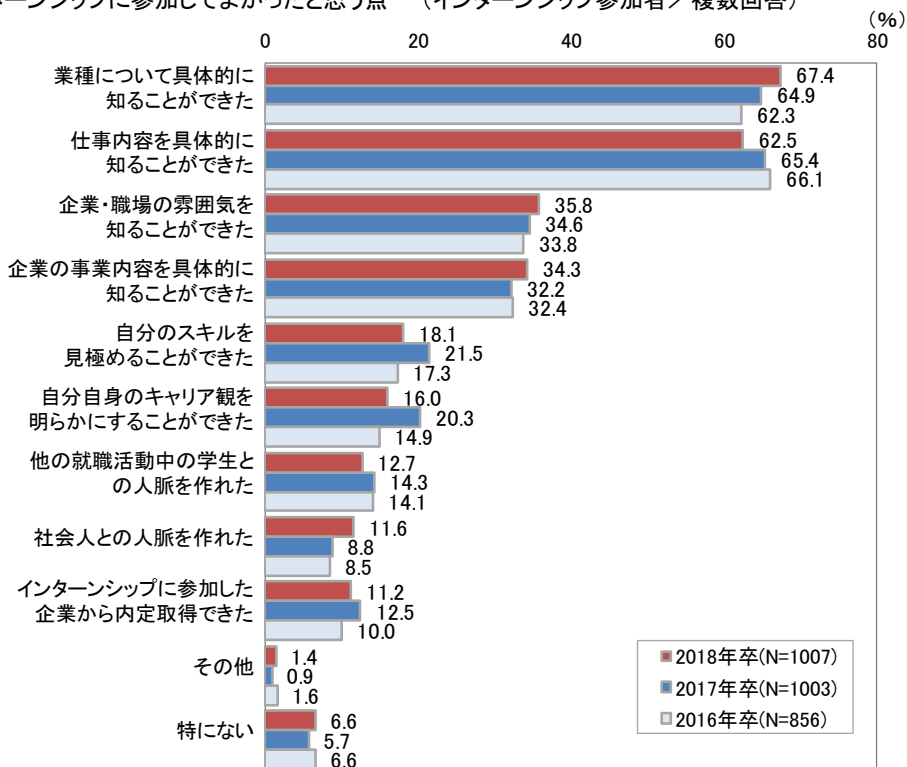
■インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと (インターンシップ参加者/複数回答)



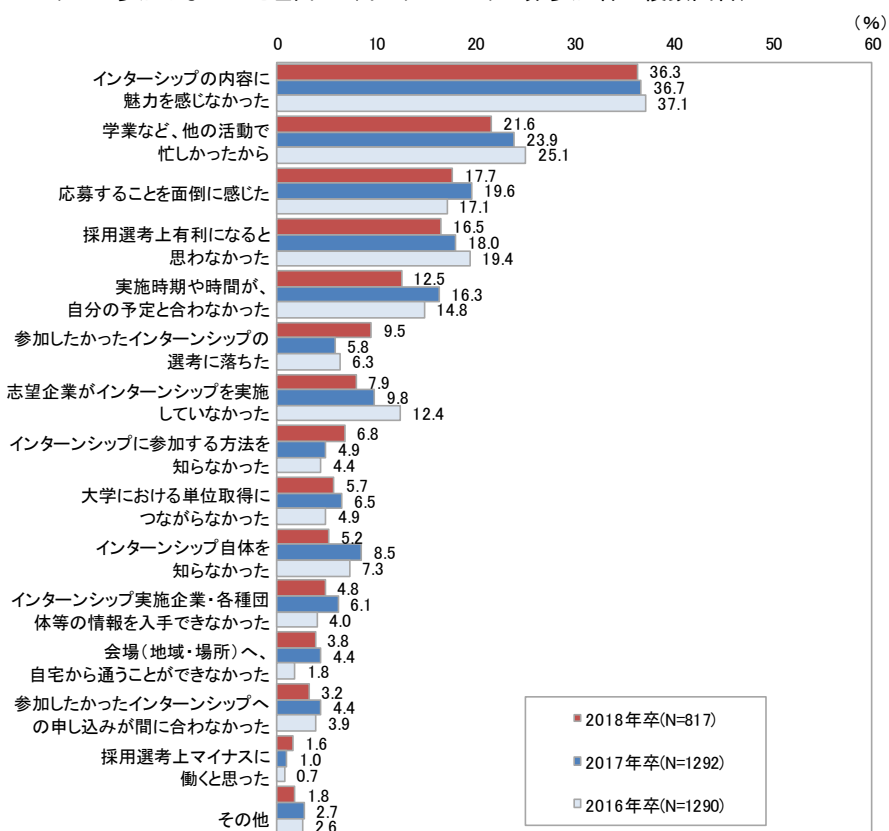
4) 参加してよかったと思う点/参加しなかった理由

インターンシップに参加してよかったと思う点は、「業種について具体的に知ることができた」(67.4%)が最も高く、「仕事内容を具体的に知ることができた」(62.5%)、「企業・職場の雰囲気を知ることができた」(35.8%)の順で高かった。インターンシップに参加しなかった学生の理由を見ると「インターンシップの内容に魅力を感じなかった」(36.3%)、「学業など、他の活動で忙しかったから」(21.6%)、「応募することを面倒に感じた」(17.7%)の順で高かった。

■インターンシップに参加してよかったと思う点 (インターンシップ参加者/複数回答)



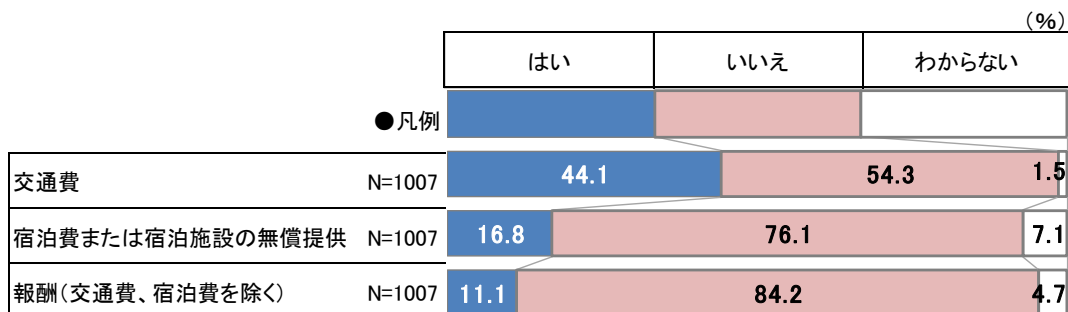
■インターンシップに参加しなかった理由 (インターンシップ非参加者/複数回答)



5) インターンシップでの報酬等の支給状況

参加したインターンシップでの、交通費などの支給状況を見ると、「交通費」を支給されたのは44.1%で、「宿泊費または宿泊施設の無償提供」は16.8%、「報酬（交通費、宿泊費を除く）」は11.1%であった。交通費の支給状況を地域別に見ると、2017年卒と比べ「近畿」は11.8ポイントの増加、「その他地域・計」は13.1ポイント増加している。

■インターンシップでの報酬等の支給状況(インターンシップ参加者/それぞれ単一回答)



□地域別のインターンシップでの報酬等の支給状況

(%)

		交通費					
		2016年卒		2017年卒		2018年卒	
		N	支給率	N	支給率	N	支給率
全体		856	32.3	1003	38.9	1007	44.1
地域	関東	405	34.8	453	43.5	444	45.1
	中部	117	32.5	138	38.3	129	32.9
	近畿	160	32.9	201	32.8	226	44.6
	その他地域・計	175	26.1	210	35.3	208	48.4

		宿泊費または宿泊施設の無償提供					
		2016年卒		2017年卒		2018年卒	
		N	支給率	N	支給率	N	支給率
全体		856	16.0	1003	16.1	1007	16.8
地域	関東	405	12.7	453	16.5	444	14.4
	中部	117	16.3	138	17.5	129	14.3
	近畿	160	20.7	201	10.6	226	19.8
	その他地域・計	175	19.1	210	19.7	208	20.4

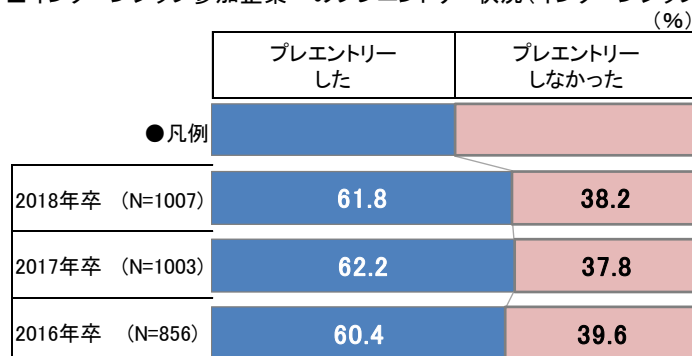
		報酬(交通費、宿泊費を除く)					
		2016年卒		2017年卒		2018年卒	
		N	支給率	N	支給率	N	支給率
全体		856	8.5	1003	12.6	1007	11.1
地域	関東	405	8.5	453	16.7	444	10.2
	中部	117	6.6	138	11.9	129	9.9
	近畿	160	9.9	201	7.4	226	12.6
	その他地域・計	175	8.4	210	9.0	208	11.8

6) インターンシップ参加企業へのプレエントリー状況

2018年卒のインターンシップ参加企業へのプレエントリー状況について、「プレエントリーした」学生は61.8%と2017年卒と比べ0.4ポイント減少と、ほぼ同水準であった。

インターンシップ参加社数別で見ると、インターンシップ参加社数が「1社」の学生で「プレエントリーしなかった」割合は54.9%であり、インターンシップ参加社数が「6社以上」で見ると17.5%であった。

■インターンシップ参加企業へのプレエントリー状況(インターンシップ参加者/単一回答)



		N	プレエントリーした	プレエントリーしなかった
		(%)		
全体	2018年卒	1007	61.8	38.2
	2017年卒	1003	62.2	37.8
	2016年卒	856	60.4	39.6

関東	2018年卒	444	61.6	38.4
	2017年卒	453	63.8	36.2
	2016年卒	405	61.7	38.3
中部	2018年卒	129	58.6	41.4
	2017年卒	138	63.2	36.8
	2016年卒	117	59.6	40.4
近畿	2018年卒	226	66.6	33.4
	2017年卒	201	61.0	39.0
	2016年卒	160	62.2	37.8
地域・計	2018年卒	208	58.9	41.1
	2017年卒	210	59.4	40.6
	2016年卒	175	56.5	43.5

■インターンシップ参加企業へのプレエントリー社数(インターンシップ参加社数別/実数回答)

		N	プレエントリーしなかった	プレエントリーした						平均値
				1社	2社	3社	4社	5社	6社以上	
インターンシップ参加社数	1社	337	54.9	45.1	-	-	-	-	-	0.45社
	2社	218	40.5	20.4	39.1	-	-	-	-	0.99社
	3社	183	27.6	11.3	23.7	37.4	-	-	-	1.71社
	4社	65	27.7	7.7	17.0	12.3	35.3	-	-	2.20社
	5社	93	25.3	7.0	4.0	18.7	7.5	37.4	-	2.88社
	6社以上	110	17.5	2.2	5.5	7.7	10.2	16.7	40.2	6.04社

1) 内定者のインターンシップ参加状況、インターンシップと採用の連動

企業の2018年卒の内定者の中に、インターンシップ参加者がいたのは73.6%で、2017年卒よりも1.1ポイント増加した。また、そもそも採用目的として実施している企業は25.6%と、2017年卒よりも2.4ポイント増加した。

■企業)内定者のインターンシップ参加状況(インターンシップ実施企業/単一回答)

		内定者の中に自社のインターンシップ参加者がいた			内定者の中には、インターンシップ参加者がいなかった	参加者がいた・計
		採用を目的として実施している	採用目的とはしてないが、結果的に内定者の中にインターンシップ参加者がいた	不明		
●凡例						
2018年卒	N=743	25.6	47.5	0.5	26.4	73.6
2017年卒	N=676	23.2	49.1	0.1	27.5	72.5
2016年卒	N=648	19.9	46.0	0.6	33.5	66.5

□企業)内定者のインターンシップ参加状況 (インターンシップ実施企業/単一回答)

※内定者の中に自社のインターンシップ参加者が「いた」と回答した割合を掲載

		全体	従業員規模				業種					地域			
			300人未満	300~999人	1000~4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業	関東	中部	近畿	その他地域・計
2018年卒	N	743	144	276	236	87	71	225	164	90	192	321	151	113	158
	いた	73.6	52.1	71.0	86.0	83.9	60.6	72.4	76.2	87.8	70.8	76.0	72.2	81.4	64.6
2017年卒	N	676	107	248	230	91	49	213	137	88	188	306	146	80	144
	いた	72.5	44.9	67.3	83.9	90.1	75.5	69.0	75.2	78.4	70.7	77.1	70.5	77.5	61.8
2016年卒	N	648	102	240	238	68	60	219	130	75	164	278	125	95	150
	いた	66.5	43.1	58.8	77.3	91.2	60.0	61.2	67.7	78.7	69.5	70.5	64.0	71.6	58.0

□企業)インターンシップと採用の連動 (インターンシップ実施企業/単一回答)

※「インターンシップはそもそも採用目的として実施している」と回答した割合を掲載

		全体	従業員規模				業種					地域			
			300人未満	300~999人	1000~4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業	関東	中部	近畿	その他地域・計
2018年卒	N	743	144	276	236	87	71	225	164	90	192	321	151	113	158
	採用目的	25.6	20.1	27.2	25.0	31.0	22.5	25.8	31.7	12.2	27.1	27.1	21.9	28.3	24.1
2017年卒	N	676	107	248	230	91	49	213	137	88	188	306	146	80	144
	採用目的	23.2	16.8	18.1	27.8	33.0	20.4	25.4	25.5	12.5	24.5	29.4	21.2	22.5	12.5
2016年卒	N	648	102	240	238	68	60	219	130	75	164	278	125	95	150
	採用目的	19.9	16.7	20.4	19.7	23.5	18.3	18.7	23.8	8.0	24.4	23.0	21.6	20.0	12.7

※サンプル数が50未満の数値は、参考値としてご参照ください。

2) インターンシップ参加企業への入社予定状況、インターンシップと採用選考の関係

インターンシップに参加した学生に、インターンシップ参加企業への入社予定について尋ねたところ、「インターンシップ参加企業に入社予定である」学生は22.3%。また「参加企業ではないが、同業種の企業に入社予定」の学生は29.1%で、合わせて51.4%の学生がインターンシップに参加した業種へ入社予定となった。

■学生) インターンシップ参加企業への入社予定状況(インターンシップ参加者・就職先確定者/単一回答)

		(%)				
		インターンシップ参加企業に入社する予定	インターンシップ参加企業ではないが、同業種の企業に入社する予定	まったく異なる業種の企業に入社する予定	その他	
●凡例						同業種・計
2018年卒	N=917	22.3	29.1	48.2	0.4	51.4
2017年卒	N=921	22.4	27.4	49.8	0.4	49.8
2016年卒	N=778	20.4	24.9	54.7	—	45.3

□学生) インターンシップ参加企業への入社予定状況(インターンシップ参加者・就職先確定者/単一回答)

		(%)				
		N	インターンシップ参加企業に入社する予定	インターンシップ参加企業ではないが、同業種の企業に入社する予定	まったく異なる業種の企業に入社する予定	その他
全体	2018年卒	917	22.3	29.1	48.2	0.4
	2017年卒	921	22.4	27.4	49.8	0.4
	2016年卒	778	20.4	24.9	54.7	—
関東	2018年卒	406	24.2	26.2	48.7	0.9
	2017年卒	408	23.5	28.2	47.9	0.5
	2016年卒	370	19.4	23.1	57.5	—
中部	2018年卒	109	19.6	29.9	50.5	—
	2017年卒	128	22.1	36.6	41.3	—
	2016年卒	111	27.3	23.5	49.1	—
近畿	2018年卒	205	21.4	31.8	46.8	—
	2017年卒	190	20.8	20.8	57.9	0.5
	2016年卒	144	18.3	22.2	59.4	—
地域・その他	2018年卒	196	20.6	32.0	47.4	—
	2017年卒	196	21.7	26.3	51.5	0.4
	2016年卒	154	19.7	32.8	47.5	—

インターンシップ参加企業へ入社予定の学生に、インターンシップと採用選考の関係について聞いた。何らかの形で「関係している」と回答した割合は74.4%だった。一方で、「採用選考とまったく関係がない」と回答した割合は18.9%であった。

■ インターンシップと採用選考の関係(インターンシップ参加者のみ、入社予定企業のインターンシップについて回答/単一回答)

		(%)							
		インターンシップの募集時に、内定の可能性が明示されていた(採用直結)	インターンシップ参加中に、内定の可能性があることを知らされた	インターンシップ参加中に、その後の採用選考、セミナー、社員紹介などに誘われた	インターンシップ参加後に、その後の採用選考、セミナー、社員紹介などに誘われた	左記にあてはまらないが、採用選考と関係があった	採用選考とまったく関係がなかった	わからない	
●凡例									関係があった・計
2018年卒	N=204	13.9	11.7	12.7	17.7	18.4	18.9	6.7	74.4

1) 参加期間毎に見るインターンシップの参加時期/参加目的 (大学生)

大学生のインターンシップ参加期間による特徴を見るために「参加期間」「参加目的」「プログラム内容」「参加してよかったと思う点」をそれぞれ①、②、③で比較した。

インターンシップに参加した大学生(= ①全体 N=851)

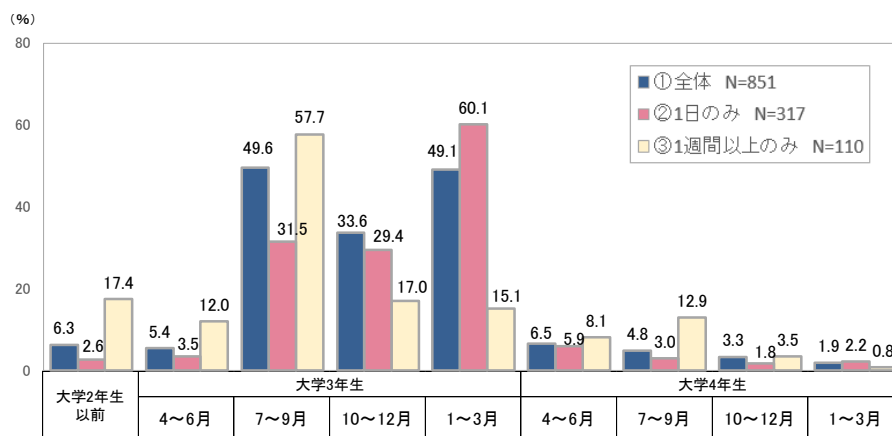
この選択肢のみ回答
(= ②1日のみ
N=317)

インターン シップの期間	1日	2日	3日以上 1週間未満	1週間以上 2週間未満	2週間以上 1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上
参加したもの すべてに回答							

これらの選択肢のみ回答
(= ③1週間以上のみ
N=110)

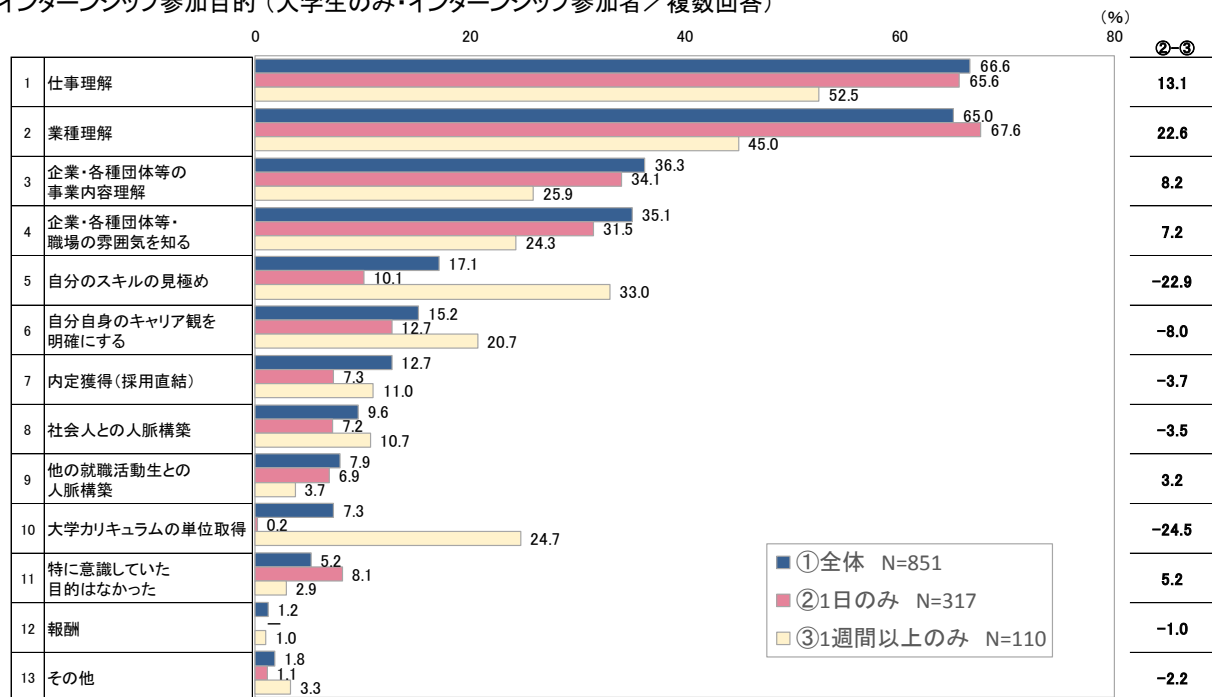
インターンシップの参加時期を見ると、『① 全体』では「大学3年生7~9月」「大学3年生1~3月」「大学3年生10~12月」の順で高い。『② 1日のみ』では「大学3年生1~3月」が最も高く、『① 全体』と比べて11.0ポイント、『③ 1週間以上のみ』と比べて45.0ポイント高い。『③ 1週間以上のみ』では、最も参加が多い時期は「大学3年生7~9月」で、『② 1日のみ』と比べると、26.2ポイント高くなっている。

■ インターンシップ参加時期 (大学生のみ・インターンシップ参加者/複数回答)



インターンシップの参加目的を見る。『② 1日のみ』と『③ 1週間以上のみ』を比較すると、『② 1日のみ』が高く差が最も大きいのは「業種理解」(22.6ポイント)だが、『③ 1週間以上のみ』の方が高く差が最も大きいものは、「大学カリキュラムの単位取得」(24.5ポイント)であった。

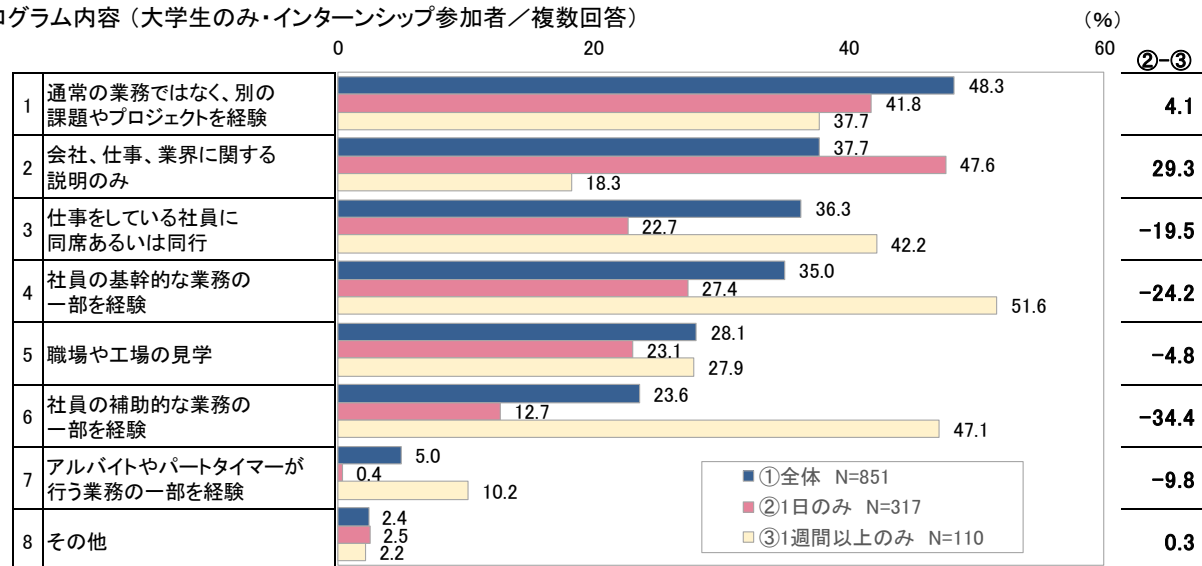
■ インターンシップ参加目的 (大学生のみ・インターンシップ参加者/複数回答)



2) 参加期間毎に見るインターンシップのプログラム内容/参加してよかったと思う点 (大学生)

プログラム内容を見てみると、『① 全体』では「通常の業務ではなく、別の課題やプロジェクトを経験」「会社、仕事、業界に関する説明のみ」「仕事をしている社員に同席あるいは同行」の順で高かった。『② 1日のみ』で最も高いのは「会社、仕事、業界に関する説明のみ」(47.6%)で、『③ 1週間以上のみ』と比べると29.3ポイント高い。『③ 1週間以上のみ』で最も高いのは「社員の基幹的な業務の一部を経験」(51.6%)。また「② 1日のみ」より「③ 1週間以上のみ」が高く、差が最も大きいものは「社員の補助的な業務の一部を経験」で、その差は34.4ポイントであった。

■ プログラム内容 (大学生のみ・インターンシップ参加者/複数回答)



インターンシップに参加してよかったと思う点を見ると、『① 全体』では「業種について具体的に知ることができた」「仕事内容を具体的に知ることができた」「企業・各種団体等・職場の雰囲気を知ることができた」の順で高かった。『② 1日のみ』で最も高いものは、「業種について具体的に知ることができた」で、『③ 1週間以上のみ』より15.4ポイント高い。『③ 1週間以上のみ』が『② 1日のみ』より高いもので差が大きいのは「自分のスキルを見極めることができた」(12.5ポイント)、次に「自分自身のキャリア観を明らかにすることができた」(9.6ポイント)であった。

■ インターンシップに参加してよかったと思う点 (大学生のみ・インターンシップ参加者/複数回答)

